

〔資 料〕

『フォイエエルバッハ』に関する資料

尼 寺 義 弘

は じ め に

ゲオルク・ビーダーマン教授の著作『フォイエエルバッハ』は、ドイツ古典哲学の最後のこの学者の思想と生涯を簡潔に明示している。この著は哲学者の思想的営為を追跡するとともに発掘された資料のうえでも興味あるものを取り上げている¹⁾。とりわけ本書に収録されている数多くの写真による表現(記念碑、紋章、人物画、風景画、著作のタイトルページ、手紙類、風刺画、戯画、挿絵、等々)は、哲学者の思想形成の具体的な過程の一端を如実に示すものとなっている。この書は、昨春、邦訳出版され原著のすべての写真も再録されている。

原著と訳書の著者と訳者、出版社、出版年はそれぞれつぎのとおりである。

Georg Biedermann: Ludwig Andreas Feuerbach. Urania-Verlag Leipzig·Jena·Berlin 1986.

ゲオルク・ビーダーマン著『フォイエエルバッハ』尼寺義弘訳、花伝社、1988年。

本稿はこれらの写真のうち理解困難な四つの風刺画および戯画について説明を加えるものである。本稿作成にあたって著者であるビーダーマン教授より多くの貴重な御教示を得たことをここに記し感謝の意を表するものである。

ドイツの芸術と産業。1844年の記念ピラ。急激な産業の発展に対する戯画。同時代の石版

画より。所蔵：Sächsische Landesbibliothek (Deutsche Fotothek) Dresden. (原書41ページ，訳書44ページ)



図 I

あらゆる学問、芸術がそしてまたあらゆる社会生活が急激な産業の発展によって変革されていく様子を示している。

1. Wissenschaft (学問)
 2. Gerichtswesen (司法制度)
 3. Künstlerisches Leben (芸術的生活)
 4. Muse (ミューズの女神)
 5. Die Königin der Industrie (産業の女王)…Lok-Führer (蒸気機関車の運転士)
 6. Siegesbogen (凱旋門) には „Heil dir! Deutschlands Stolz u. Zuversicht“ (万歳! ドイツの未来に誇りと確信を) が掲げられ機関車が通過している。
 7. Lokomotiv (蒸気機関車) のプレートには „Vorwärts“ (前進) と書かれている。
- ドイツで最初に鉄道が敷設されたのは、1835年，Nürnberg—Fürth 間，8km である。1837

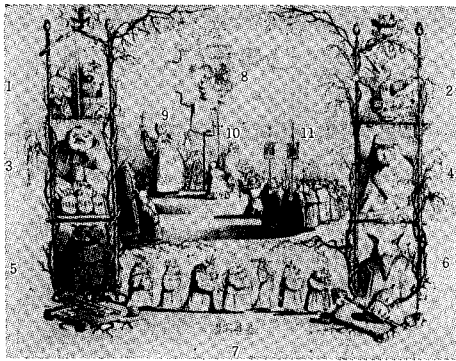
—39年には、Leipzig—Dresden 間、116km が建設され、1845年の総延長は 2,143km、1855年のそれは 7,826km と爆発的な成長をみせた²⁾。

ちなみにイギリスで最初に鉄道が敷設されたのは、ストックトン—ダーリントン間で1825年、アメリカはボルティモア—オハイオ間で1830年、フランスはリヨン—サンティエヌ間で1832年、日本は新橋—横浜間で1872年のことである³⁾。

8. 産業の発展を喜ぶ人々。

9. 蒸気機関車(急速な産業の発展)について行くことが出きず、取り残されたり、投げ出された人々。なお1. 2. 3. は産業の発展に反対であることを意味する。

聖衣に対する風刺画、パロディ。作者不詳。1845年ごろの石版画。所蔵：Märkisches Museum Berlin (原書79ページ、訳書92ページ)



図II

トゥリーアの反キリスト教・反教会の宣伝画。当時トゥリーアはカトリック大司教区(ラインラント)の中心都市であり、聖衣(教会の支配)は出現しつつあるブルジョア進歩思想にとって墮落と悪の象徴であった。

1. Dummheit(愚鈍)の象徴である Schaf(羊)と Ochse(牛)が、上部には Lichtscheues Wesen 光〔真実〕を忌み嫌う Fledermaus

(コウモリ)が描かれている。

2. Geschwätz(ばか話)…厚かましくもお喋りに耽る小鳥, Sperling(スズメ)など。上部には Einfalt(お人よし)が描かれている。

3. Mönch(修道士)…Mönchskutte(修道服)に身をつつみながら金(財産)を貯え増やすことに余念がない…Parasit(寄生虫)。

4. Frömmerei(信心ぶること)と Heuchelei(偽善)…Nonne(修道女)が子供を殺している。精神の死を表現している。

5. Geheimnis(秘密)…Eule(フクロウ)の下にあるカギは Geheimnisarchiv(機密書類保管庫)のそれを意味する。これは反教会や進歩思想の持ち主を極秘裏に調査する諜報機関のもとにあり、宗教裁判のさいに用いる文書リスト保管庫である。この下に牢獄がつけられているのは象徴的である。ナチスの時代にもこの種の保管庫は数多くあり、人権弾圧の手段として用いられた。

6. Inquisition(異端審問, 宗教裁判)…Wolf(オオカミ)の下にあるのは Bischofshut(司教帽)と Bischofsstab(司教杖)であり、この権威にもとづいて反教会を唱える者の審問を行う。なお1と2, 3と4, 5と6がそれぞれ対をなしている。

7. 頭は動物、衣裳は人間という出で立ちの列は Dummheitの象徴である山羊, 羊, 牛, 豚, 犬, そして Fabeltier(伝説上, 想像上の動物)である。

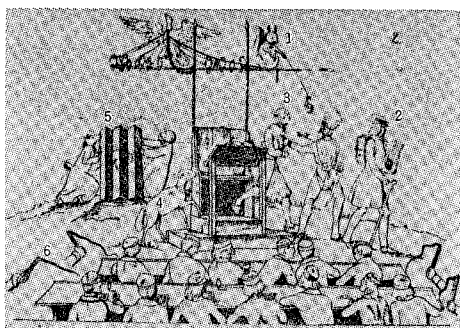
8. スペイン, フランス, ドイツなどヨーロッパの地図を表わし, 全体がローマの Spinne(クモ)とその糸によって支配されている。

9. 聖衣を着た大司教…Geier-Schnabel(ハゲタカのくちばし)をもつ。

10. 告白する者ども(羊, 山羊)。

11. 信者の行列, 羊, 山羊, 牛, 豚など。

教授の自由に対する政治的風刺画。作者不詳の石版画。1840年ごろ。所蔵：Märkisches Museum Berlin (原書84ページ、訳書98ページ)



図Ⅲ

プロイセンの文部大臣 Eichhorn は Hoffmann von Fallersleben (偉大な国民歌の詩人で哲学者) につづいて Bruno Bauer (青年ヘーゲル学派の哲学者) をも教壇から追放し、口を封じた。学生たちは厳しい警察の監視の下におかれた。

1. 文部大臣 Eichhorn (動物名リス) が図左上の自由の鳥を鎖で縛りつけている。彼は進歩的な考えの人々を放逐したことで有名である。マルクスの「ライン新聞」も1848年に発禁処分された。

2. Hoffmann von Fallersleben はすでに教壇(ボン大学)から追放されている。右手に杖、左手に Muse (芸術・学問の女神) をもつ。

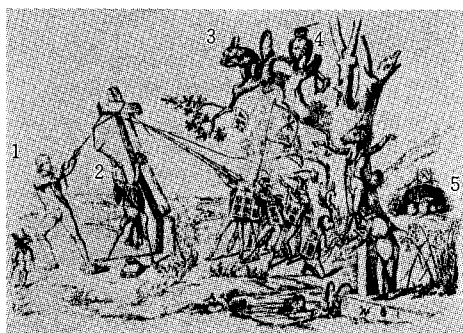
3. Bruno Bauer も教壇(ボン大学)より追われようとしている。

4. 羊(愚鈍)が教壇に上がろうとしている。羊の首下にある十字架の印は神学を意味し、哲学にとって代えようとするアイヒホルンへの風刺である。

5. 山羊や羊が聖書を教壇へ押し上げようとしている。これは伝統的な教会のドグマ(宗教と神学)を再び講壇へ上げるためである。

6. 学生たちは一度ファレスレーベンやバウアーより自由な講義を聞いており、彼らは警察の厳しい答(思想弾圧)の下におかれた。

反教会のピラ。作者不詳のペン石版画。所蔵：Märkisches Museum Berlin (原書103ページ，訳書122ページ)



図Ⅳ

1. ブルノ・バウアーと David Friedrich Strauß が二人して教会の十字架(宗教上の迷信)を打ち倒そうとしている。

2. Strauß は動物名ダチョウ。ダチョウが斧を振りかざして十字架に立ち向かっている。

3. 文部大臣アイヒホルン(リス)は反進歩の頂点に立ち、兵士たちを指揮している。

4. Eule (フクロウ) は秘密を表わし、その他の動物(山羊, 羊, 牛, 馬)は必死になって十字架(キリスト教会, 迷信)を擁護しようとしている。Fabeltier (カエルの頭をしたもの)がじっとみつめている。

5. Goldgrube (金鉱山…二つのハンマーが組み合わされる)…産業の発展を意味する。

注

- 1) 本訳書『フォイエールパッハ』「訳者あとがき」参照。
- 2) Meyers Neues Lexikon, Bibliografisches Institut. Leipzig. 1962. Bd. 2, S. 841.
- 3) つぎの各事典の「鉄道」の項目参照。『世界大百科事典』第21巻，平凡社，1972年。『万有百科大事典』第12巻，小学館，1977年。『大日本百科事典』第15巻，小学館，1981年。『大百科事典』第10巻，平凡社，1985年。

(1988年12月16日受理)